

## サウス・チャイナ・モーニング・ポスト誌が掲載した

### Hikvision 社のニューヨーク市警 AI に関する誤報記事



ジョン・ホノヴィッチ 著

2019 年 1 月 14 日

先週、アジア最大の出版物の 1 つであるサウス・チャイナ・モーニング・ポスト紙 (SCMP) が、ニューヨーク市警察で使用している「中国の顔認識技術」(すなわち Hikvision 社) についての記事を報道した。しかし、問題は物語が間違っていることだ。

それにもかかわらず、物語は、中国の技術的優位性の兆候、そして米国の「最大の都市」への好ましくない Hikvision 社による中国の侵入という両方の観点から、国際的な注目を集めている。

本稿では、SCMP の話を検証しながら説明している。

- 「Sky Net」AI の主張が誤っている理由
- 顔認識ソフトウェアの例が誤っている
- 住宅案件に Hikvision 社製品が選ばれた理由
- Hikvision 社にとって厄介な敵である Genetec 社のシステムが、ニューヨーク市警察導入されている。
- Hikvision 社製 AI の問題点
- Hikvision にとって望ましくない情報
- この SCMP による物語による影響